

同時資料配布先:

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2019年10月28日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2019 ～脱炭素社会に向けたチャレンジ～ 開催のご案内

当機構は、標記のシンポジウムを12月18日、東京大学伊藤謝恩ホールにて開催いたします。

ご承知の通り、2020年パリ協定実施年を直前に控えた国内外の地球温暖化問題への注目度の高まりは、革新的環境技術への過去にない期待となっており、当機構ではこれに応えるべく研究を更に推進しております。

今年のシンポジウムでは、経済産業省大臣官房審議官の矢作友良様をお迎えしてご講演いただく他、当機構の山地副理事長による基調講演、各グループ・センターの最新研究成果についてご報告いたします。

1. 開催趣旨

我が国は、「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定し、「最終到達点としての脱炭素社会を掲げ、それを野心的に今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指すとともに、2050年までに80%の削減に大胆に取り組む」という目標に向かって歩み始めました。今、温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」の実施年である2020年を前に、すでに大きなうねりとして、国内外での脱炭素社会早期達成活動の活発化、革新的環境イノベーション戦略の策定が進められています。

この目標に向け、温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠です。当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的なエネルギー・環境技術として、CCS技術^{※1}、バイオリファイナリー技術^{※2}、無機膜^{※3}を用いた分離・精製技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。

また、経済産業省大臣官房審議官の矢作友良様をお迎えして、「COP25について(仮)」と題してご講演いただきます。

※1 CCS: Carbon dioxide Capture and Storage。発電所や製鉄所等の排気ガスからCO₂を分離・回収し地中に貯留する技術。

※2 バイオリファイナリー: バイオマスからバイオ燃料や化学品を生産する技術。

※3 無機膜: 水素社会に不可欠な水素の分離・精製などへの適用が期待されるセラミックや金属製の薄膜。

2. 開催概要

主催: 公益財団法人地球環境産業技術研究機構(RITE)

後援: 経済産業省、公益社団法人日本化学会、公益社団法人化学工学会、

(予定) 公益社団法人日本農芸化学会、一般社団法人エネルギー・資源学会、
一般社団法人日本エネルギー学会

日 時： 2019年12月18日(水) 13:00-17:25 (受付開始 12:30)

会 場： 東京大学 伊藤謝恩ホール(本郷キャンパス 赤門東隣り)

参加費： 無料

プログラム：

- ・招待講演： COP25 について(仮)
経済産業省大臣官房審議官(環境問題担当) 矢作 友良
- ・基調講演： 脱炭素社会に向けたイノベーションの創出
副理事長・研究所長 山地 憲治
- ・講演 1： 脱炭素社会に向けたエネルギーシステムの変遷の評価
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ・講演 2： CO₂ 分離回収技術の実用化検討と今後の展開
化学研究グループリーダー 中尾 真一
- ・講演 4： CO₂ 地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み
CO₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
- ・講演 5： 脱炭素社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- ・講演 6： 無機膜の実用化開発と脱炭素社会に向けた取り組み
無機膜研究センター長 中尾 真一

(詳細はリーフレットを参照願います。)

ポスターセッション：

14:40~17:00 の間、ご自由にポスターを前に、研究者と交流いただける機会を設けております。
お気軽にご質問ください。

※座ってお話いただける「技術相談コーナー」も設けています。具体的なご相談事項のある方は、
その旨ポスター説明員にお申し出ください。

3. 参加登録

参加を希望される方は、RITE ウェブサイト <http://www.rite.or.jp> よりお申し込み下さい。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加お申し込み下さいますようお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい。

本件に関するお問合せ先：

(公財) 地球環境産業技術研究機構

企画調査グループ 広報・産業連携チーム 川口、大西、辰巳

TEL : 0774-75-2301 FAX : 0774-75-2314

Innovative Environment Technology Symposium 2019

革新的環境技術シンポジウム 2019

～脱炭素社会に向けたチャレンジ～

2019年12月18日(水) 13:00～17:25(受付開始 12:30)

伊藤謝恩ホール(東京大学) **入場無料**

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援(予定)：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、
一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会

SCOPE

我が国は、「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定し、「最終到達点としての脱炭素社会を掲げ、それを野心的に今世紀後半のできるだけ早期に実現することを目指すとともに、2050年までに80%の削減に大胆に取り組む」という目標に向かって歩み始めました。今、温暖化対策に関する国際枠組み「パリ協定」の実施年である2020年を前に、すでに大きなうねりとして、国内外での脱炭素社会早期達成活動の活発化、革新的環境イノベーション戦略の策定が進められています。

この目標に向け、温室効果ガスを大幅削減するためにはイノベーションの創出が不可欠です。当機構は設立以来、抜本的なCO₂削減を実現するための革新的なエネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループ・センターの最新の研究成果をご報告いたします。

プログラム

12:30	受付開始	
13:00～13:05	開会挨拶	理事長 茅陽一
13:05～13:35	招待講演	COP25 について(仮) 経済産業省 大臣官房審議官(環境問題担当) 矢作 友良
13:35～14:05	基調講演	脱炭素社会に向けたイノベーションの創出 副理事長・研究所長 山地 憲治
14:05～14:40	講演 1	脱炭素社会に向けたエネルギーシステムの変遷の評価 システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
14:40～15:10	コーヒーブレイク	
15:10～15:45	講演 2	CO₂分離回収技術の実用化検討と今後の展開 化学研究グループリーダー 中尾 真一
15:45～16:20	講演 3	CO₂地中貯留の実用化に向けての安全管理技術開発の取り組み CO ₂ 貯留研究グループリーダー 薛 自求
16:20～16:55	講演 4	脱炭素社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発 バイオ研究グループリーダー 乾 将行
16:55～17:20	講演 5	無機膜の実用化開発と脱炭素社会に向けた取り組み 無機膜研究センター長 中尾 真一
17:20～17:25	閉会挨拶	専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

コーヒーブレイクの時間から 17:00 までの間、ご自由にポスターを前に、研究者と交流いただける機会を設けております。お気軽にご質問ください。

※座ってお話いただける「技術相談コーナー」も設けています。具体的なご相談事項のある方は、その旨ポスター説明員にお申し出ください。

アクセス

東京大学 本郷キャンパス
伊藤国際学術研究センター
地下 2F 伊藤謝恩ホール

- 東京メトロ丸の内線「本郷三丁目駅」より徒歩 8 分
- 都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩 6 分

お申し込み

RITE ウェブサイト

<http://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

